

令和元年度広島体育学会奨励賞の授与について

令和2年12月10日

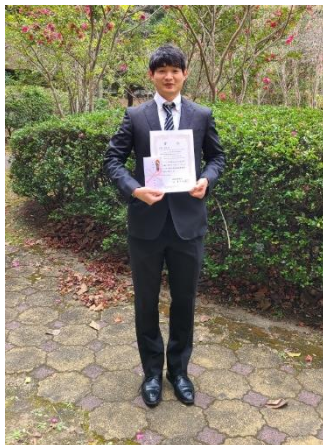
令和元年度に、筆頭著者として「広島体育学研究」およびその他の学術誌に発表された体育学に関する論文、著書を対象に募集・選考を行った結果、下記2編の論文が受賞されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により研究例会が中止となったため、個別に奨励賞の授与を行いました。広島体育学会では、このような取組みを通じて若手研究者を応援しています。

1. Yusuke Ozaki, Takeshi Ueda, Tomohiro Fukuda, Tatsuya Inai, Eri Kido, Daiki Narisako. Regulation of Stride Length During the Approach Run in the 400-M Hurdles. *Journal of Human Kinetics*, 69, 59-67, 2019.

2. 白石智也, 岩田昌太郎, 齊藤一彦. 『ウガンダ共和国における授業研究を用いた体育教員研修会の効果の検討: New World Kirkpatrick Model を適用した研修評価』*体育学研究*, 65, 125-141. 2020.



学会役員から賞状と賞金を授与しました



尾崎 雄祐 先生



白石 智也 先生